

働こう障害者も働けるんだオレたちもこぶしだより

1995年7月7日(金)

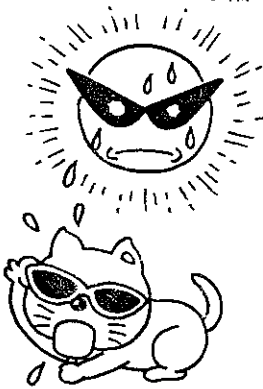
発行 二ぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

夏を迎えて

雨雲の間に夏の日ざしを感じるこの頃、いよいよ夏に迎える準備です。

雨を充分に吸った大地ギリギリと入道雲がゆるれる時、そうです、夏、こぶし・けやき作業所は、うっそうとした緑に囲まれてしまします。雑草の天下になる前に皆さんにお願いです。都合のつく日時で結構です。お誘い合わせて外観整備(草刈りなど)に御協力下さいれば幸いです。

その際前日にも作業所へご連絡下さいば道具等の用意も致しますので宜しくお願いします。



ときおりかい間見る夏の暑さにけやきの冷房設備が活躍します。いよいよ夏本番、スタンバイOK。

(けやき冷房設備の設置については連合保護者会より一〇万円の助成をいただいたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。)

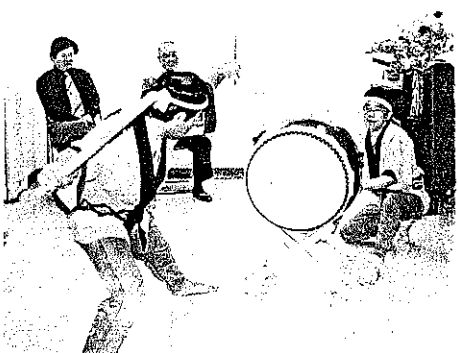
(高橋)

第2回けやきまつり

去る6月18日けやき作業所で地域の人たちとの交流事業として第2回けやきまつりが開催されました。

今年の梅雨は、一昨年を思い出すように宣言されてから早くにお陽様が顔を出す事もなく、けやきまつりの開催が危ぶまれていたのですが、前日から梅雨の中休みというのでしようか、カラッと晴れあがり、当日の天気も何の心配もありませんでした。毎度のことながら、けやき作業所の行事はお天気に恵まれます。

さてまつりは、宇都宮センター合唱団による太鼓の音で始まりました。センター合唱団の方には、その後も歌を聞かせていただき、みんなで合唱もしました。午後は仲間のステージ、この日のためにけやきの仲間、一週間毎日歌の練習をしてきました。大きな声で元氣よくうたえ(一)



(成田)



又、これが今回のメインイベントだったのかもしれない。大福引大会、豪華景品がたくさんそろえられ、みんなワクワク自分のラッキーナンバーが呼ばれるのを待っていました。

模擬店も、焼そば・フランクフルト・豚汁・わたあめ・お酒・ビール等たくさん用意され大変にぎわいました。一つ残念なことは、その日小学校でバレーボールの試合が重なり、地域の方の参加が少なかった事です。

それでも、のべ人数115名の参加者で大盛況で終えました、又来年をお楽しみに

(成田)

共作連(共同作業所全国連絡会) 第1回実践研究交流集会

去る6月3日(土)に、共作連とちぎ第1回実践研究交流集会が、宇都宮市文化会館で行なわれました。

昨年12月、県内の共作連加盟作業所が集い、共作連とちぎを結成して半年、その間、第18次国会請願署名(全県1、162名・カンパ¥98、714)を取り組んできました。今集会は今年度活動方針のひとつ、作業所間の交流と学習をとりくむその第一歩として行なったものです。

第1部は「成人期障害者の生活と労働」と題して埼玉大学講師・共作連調査研究委員宗澤忠雄先生による講演でした。その内容は、一日の取組の場面で必ず主人公になれる場面が大切。働くことの楽しみの中で生活年令に着目した基本的なことを実行する。職員も自分を励まし暖かいまなざしを持てるようになった。はじめは仲間が輝ける作業所ができるのではないかと等身事例を出しながらのお話。聞く側も仲間たちの顔を浮かべながら耳を傾け、ペンを走らせました。第2部は、実践交流の分科会。助言者として宇都宮助教授・池本喜代正先生をお願いし、2つのレポート報告を中心に行ないました。1つは、日光キスゲ作業所の「障害者と作業所とのかわり」というテーマで、障害者(仲間)の要求から出発したキスゲ作業所の地域における役割と実践の中の仲間を主人公とした様々なとりく

共作連全国集會に 参加して

6月3・4日に広島で第18回共作連全国集會が行なわれ、2人の仲間が参加しその感想を掲載します。

直井信也さん

生活の分科会に出席しているような話を聞いて参考になった。自分も一人暮らしをしたという人が何人か居て話しをしてきました。

石けん工場の見学では「俺にはちょっとムリかな」と思った。まっでできること考えてやればいいんだけど。

原爆資料館のまるこげの弁当箱はショックだった。50年前、ここに原爆おっこちでみんなあの川にとびこんで死んだんだなあって考えた。戦争はやっちゃいけないなと思った。

30名弱と参加者は少し淋しいものでしたが、県北の作業所や更生施設の職員の方の参加があったこと、その中で賛助会員を迎えられたこと、作業開拓の交流がはじまりそうなお話など、いくつもの成果を得る事ができた集會でした。

尚、宗澤先生の講演テープとビデオを貸出します。ご利用される方はお申し出下さい。

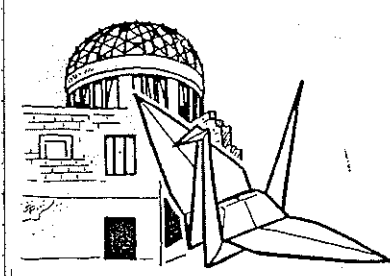
(鈴木)

あなたが是非賛助会員に!!

年間(個人)

1口 ¥2,000

- 大橋義一さん
- 広島
- 平和記念公園
- 原田くんのまわりおさんぽしました
- 広島市民球場
- 平和記念資料館
- 人形
- 中学生の貴重品
- カラス片が安かった
- 黒川雨
- アグリセンター
- 県立総合体育館
- おかいさんにおいしました



スポーツ大会

今年のスポーツ大会は5月28日に芳賀町第2体育館で開催されました。

今年は各チームにけやきA、赤おに、けやきBももちろん、自力ウルトラマン、市内メロン、上三川川うさぎと名付けました。

伴奏のないラジオ体操で始まりました。ヒントが書いてある紙を頼りに目的地に向かうウォークラリーは好評で景品のぬいぐるみをたくさん欲しいと訴える人がいた程度でした。全員体育館に戻り競技が開始しました。まずは、車イスリレーです。各チームとも一位になるために走者の順番を工夫していました。

午後は、仲間だけのペットボットによるポイントゲームです。みんななかなかの高点でチームの点数を上げていました。次にゴロバレーです。今年はチームを仲間と保護者との2つに分けました。保護者チームは遠慮することなく思いっきりボールをたたき転がせられ、仲間チームは誰にも頼らずに自分でボールを追う光景が見られました。閉会式では、各チームの順位とMVPが発表されスポーツ大会は終了しました。

- 尚、チームの順位は以下の通りです。
- 1位 うさぎ 155
 - 2位 赤おに 119
 - 3位 メロン 105
 - 4位 ももたろう 98
 - 5位 ウルトラマン 95

「かんぴよう班でワープロを打つ」

U君は、かなり重い身体の障害を持った仲間です。1年目はベアリング班、2年目はリサイクル班、3年目はかんぴよう班に配属されました。ベアリング班の時は治具を使って、組立作業を一日とくりくんでいました。リサイクル班の時は半日はリハビリをかねて散歩。一日中作業では肩こりや首の疲れがひどく、特に冬は殆ど動かさず動かない状態になってしまっていました。そして半日は空缶つぶしに精を出していました。3年目のかんぴよう班の時、作業工程のどこに彼の仕事を組み込もうかと悩みました。それにいままでの作業自体も彼の得意な分野を強いている気がし

て私は何となく納得がいきました。彼とはいろいろな事を話しながらこれから何を考えていこうとも思いました。正直言って彼の発声はなかなか聞き取りにくく、彼の言いたい事をも制限しているのではないかと考えました。障害の持つ生きることの重たさを実感してしまいました。

いま、U君はワープロの打ち込み作業を全身を使って頑張っています。彼の力を最大限発揮できる作業はと考えることです。一時はふるしき残業を続け、体調を狂わせたりましたが、適当に体を動かしながらワープロの仕事が続けています。将来はパソコンを導入し、商品の管理や文書の作成、事務等もやってみたいと思っています。五月には国立障害者総合職業センターなどを見学し、障害者のパソコン支援機器を見てきました。現代の科学水準に一縷の光を見た思いで、私たちの夢も現実のものになりつつあることを感じました。いまでは職員も日常の文書を彼に頼むほどU君の実力が付いてきました。後はパソコンの導入とパソコンで管理するに足る作業の開発です。

彼との伝え合いもパソコンでできたらと思いついて提案してみました。しかし彼は自分の肉声で言いたい事を伝えたいという強い思いがあるようです。連絡帳にあれこれ書かれるのも嫌だという成人としてのプライドと共通するものがあるのかもしれない。でも、仲間同志の伝え合いにはワープロを使いたしました。仲間だけの自治会役員会の場では、人が彼がワープロを囲んで何やら相談している光景がられます。

少年ジャンプ連載当時、日本中を沸かした世界66か国に翻訳出版された中浪野治の『ザ・ワンセラー』。作者自身の体験だけに感動を呼ぶ全国100万人の胸を揺るがした。主プロ系列製作、真崎守監督、羽田健太郎音楽。

7月のこよみ

8 (土)	休	所	日
9 (日)	休	所	日
14 (金)	けやき	キャンプ	
15 (土)	伊許山	キャンプ場	
16 (日)	休	所	日
21 (金)	こぶし	キャンプ	
22 (土)	銀山平	キャンプ場	
23 (日)	休	所	日
29 (土)	職	員	会 議
30 (日)	休	所	日

チャリティー

絵画展のお知らせ
とちぎコープ ドン・ハットフィールド画伯招待

〈併催〉現代国際巨匠絵画展
※収益の一部は栃木県社会福祉協議会「絵の美展会」に寄付されます。
●会期/1985年8月4日(金)～7日(月) (10:00～19:00、最終日は18:00まで)
●会場/ホテルグランドパレス宇都宮 10F「絵画の館」
●住所/宇都宮市東宿郷2-4-4 TEL:0286-32-1212
●主催/とちぎコープ生活協同組合
●協賛/共同作業所全国連絡会とちぎ
●後援/朝日新聞宇都宮支局、足利工業大学生活協同組合、宇都宮大学生活協同組合、下野新聞社、JA宇都宮、JA小山市、生活協同組合とちぎ、栃木県学校生活協同組合、栃木県社会福祉協議会、栃木県生活協同組合連合会、とちぎ労働福祉事業団、読売新聞宇都宮支局。(50音順)
ご希望の方は作品のご予約も承ります。お支払は、便利な分割払いもご利用いただけます。

チケット購入希望の方は、こぶし・けやき作業所まで
0286-176
0286-191
0286-078
0286-089

この映画の舞台となった原爆ドームが国の史跡に指定され(95.5.18)いよいよ世界遺産となる日、近づく

はだしのゲン

夏の特典鑑賞会 1部・2部一挙上映!!

アニメならではの衝撃の原爆投下シーン
父姉弟を失いながら、母をたすけて
たくましく、明るく生きるゲンに
世界中から大きな拍手が。。。

少年ジャンプ連載当時、日本中を沸かした世界66か国に翻訳出版された中浪野治の『ザ・ワンセラー』。作者自身の体験だけに感動を呼ぶ全国100万人の胸を揺るがした。主プロ系列製作、真崎守監督、羽田健太郎音楽。

宇都宮市文化会館
8月6日(日) 宇都宮市文化会館
①10時、②1時、特別鑑賞券1000円

宇都宮市文化会館事務局 宇都宮市池上町4-3 サンシャイン・ミニシティ6F ☎(0286)33-7646 36-5540 入会金3,000円・会費(月)2,500円

結婚しました

6月10日にこぶし職員の桜庭(旧姓斉藤)さんが宇都宮ロイヤルホテルで結婚式を挙げました。

新婿住居は
宇都宮市下川俣町22-15
桜庭 宏江
0286(89)6488

